



The 89th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society

第89回日本循環器学会学術集会

ランチオンセミナー25

Luncheon Seminar 25 (LS25)

日時 2025年 **3月29日(土)** 12:20~13:10

会場 **第4会場 パシフィコ横浜**

会議センター 3階「302」

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

心房細動早期発見のための 効果的、効率的戦略 ~PAF-AIの活用~

座長 **高橋 尚彦** 先生
大分大学 循環器内科 教授

演者 **笹野 哲郎** 先生
東京科学大学 循環器内科 教授



本セミナーは事前予約制となります

事前予約 2025年1月24日(金)~3月14日(金) 17:00まで(予定)

●事前予約をされた方は、お申込みセミナーが印字された参加証が発行されますので、ご入場の際にご提示ください。

当日申込

●当日お申込みも可能ですが、セミナーまたはお申込み可能な数に限りがございますこと予めご了承ください。

ランチョンセミナー25

Luncheon Seminar 25 (LS25)

心房細動早期発見のための効果的、効率的戦略 ～PAF-AIの活用～

笹野 哲郎

東京科学大学 循環器内科 教授

近年の人工知能(AI)の医療応用は大きく進んでおり、心電図診断においても、従来の自動診断の精度向上に加えて、疾患の有病予測が可能となっている。本邦においては、2024年にAIによる心房細動有病予測機能つき心電計が上市された。従来の自動診断は、医師が波形を確認して評価することが可能であるのに対し、非発作時心電図から心房細動の有病予測を行うAI(PAF-AI)は、医師が波形をみても判別できない変化を捉えているという点で大きな違いがある。

本講演では、心電図に対するAI解析の総論と、今回上市されたPAF-AIの開発、およびその有用性と限界・適切な活用範囲について解説する。また、健常者を対象としたAIによる心房細動有病予測の有用性検証研究の結果を紹介する。これらの結果をもとにした、PAF-AIと長期間ホルター心電計を組み合わせた効果的な発作性心房細動早期発見についても議論したい。